

# 小原田地域学校保健委員会だより

令和7年1月16日(木)に、小原田中学校において「地域学校保健委員会」を開催しました。その内容をお知らせいたします。

令和7年2月13日発行  
小原田小学校

小原田中学校(令和6年度事務局)

## 【小原田地域学校保健委員会とは?】

小原田小学校と小原田中学校が連携し、小原田地域の子どもたちの健康問題の解決や健康教育を推進するために設置されているものです。

メンバーは各校の学校医や保護者代表の方々、各校の教職員で構成されています。



## 【令和6年度 出席者】

- |                       |                       |           |
|-----------------------|-----------------------|-----------|
| ・小学校 学校医：工藤 信一 先生     | ・小学校 PTA 会長：渡辺 隆康 様   | ・小学校 体育主任 |
| ・中学校 学校医：古川 哲夫 先生     | ・小学校 PTA 事務局長：関和 良太 様 | ・中学校 体育主任 |
| ・中学校 学校歯科医：鈴木 智子 先生   | ・中学校 PTA 会長：橋本 裕 様    | ・小学校 保健主事 |
| ・小中学校 学校眼科医：古川 貴子 先生  | ・小学校長                 | ・小学校 栄養技師 |
| ・小中学校 学校耳鼻科医：佐久間 仁 先生 | ・中学校長                 | ・小学校 養護教諭 |
| ・小中学校 学校薬剤師：志岐 由利子 先生 | ・中学校教頭                | ・中学校 養護教諭 |
|                       |                       | (兼 保健主事)  |

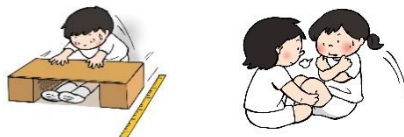
## 【報告内容】

### 1 体力・運動能力調査の結果

#### (1) 体力テストの結果

体力テストの各項目の平均を全国平均と比較した。

- 小原田小の課題種目⇒**シャトルラン・上体起こし・50m走・立ち幅とび** ⇔ 握力、長座体前屈、ボール投げは改善傾向  
 ○小原田中の課題種目⇒**握力・長座体前屈・立ち幅とび** ⇔ 50m走、ボール投げは改善傾向



#### (2) 体力テストの結果を踏まえて

- 小原田小⇒体力テストの結果からは「体力の二極化」も懸念される。そのため、今後も全学年で「楽しい体育」を実施するとともに、児童一人ひとりの技能や能力に応じた場を設定していきたい。  
 ○小原田中⇒生徒の柔軟性に課題があると言え、今後は課題に沿った運動の場を設定していきたい。

### 2 定期健康診断の結果

#### (1) 発育測定結果 ※全国平均=R5年度の全国平均

- ①身長が全国平均を上回った学年  
 ○小原田小⇒男子：2年・4年・5年・6年  
 女子：5年・6年  
 ○小原田中⇒男子：1年  
 女子：3年
- ②体重が全国平均を上回った学年  
 ○小原田小⇒男子：4年・5年・6年  
 女子：5年・6年  
 ○小原田中⇒男子：1年・3年  
 女子：1年・2年



#### (2) 肥満傾向児・痩身傾向児の割合

肥満	小学校合計(男女)	中学校合計(男女)
R5 郡山市	13.06%	13.53%
R5 県	15.90%	12.92%
R5 全国	9.16%	10.23%
R6 小原田	9.93%	12.06%

⇒全国を上回るが市・県を下回り、年々減少傾向にある。

痩身	小学校合計(男女)	中学校合計(男女)
R5 郡山市	1.03%	2.55%
R5 県	1.07%	2.59%
R5 全国	1.57%	3.24%
R6 小原田	0.66%	3.19%

⇒小学校は全国をかなり下回り、中学校はほぼ全国並み。

### (3)視力測定の結果

- 小原田小 裸眼視力 1.0 未満児童 40.4% (R5 年度全国平均 38.8%)
- 小原田中 裸眼視力 1.0 未満生徒 73.4% (R5 年度全国平均 62.8%)

○小中ともに、裸眼視力 1.0 未満児童生徒の割合が全国平均を下回る。

○小中ともに、県と全国平均に比べて矯正者の割合が高い。

小学校 裸眼視力の割合

	A	B	C	D	矯正者
R6 小原田小	59.6%	10.2%	11.6%	3.3%	15.3%
R5 県	56.2%	14.0%	11.7%	5.1%	13.0%
R5 全国	61.2%	11.3%	11.2%	4.8%	11.5%

中学校 裸眼視力の割合

	A	B	C	D	矯正者
R6 小原田中	26.6%	11.7%	11.3%	7.8%	42.6%
R5 県	31.0%	12.1%	11.8%	10.1%	35.0%
R5 全国	37.2%	10.6%	12.7%	7.7%	31.8%

A…1.0以上、B…1.0未満～0.7以上、C…0.7未満～0.3以上、D…0.3未満

### (4)歯科検診の結果

	健全歯者	処置完了者	未処置者	合計(人)
R6 小原田小	245	56	132	433
割合	56.6%	12.9%	30.5%	
R5 県	55.0%	22.3%	22.7%	
R5 全国	65.2%	17.5%	17.3%	
	健全歯者	処置完了者	未処置者	合計(人)
R6 小原田中	137	33	95	265
割合	51.7%	12.5%	35.8%	
R5 県	63.7%	20.2%	16.1%	
R5 全国	72.1%	16.9%	11.1%	

#### ○健全歯者の割合

小原田小は県平均をわずかに上回るが、小原田中は県や全国平均を大きく下回る。

#### ○未処置者の割合

小中ともに、県や全国平均を大きく上回っている。

### 3 朝食調査の結果

○小原田小の朝食摂取率

6月：96.3% (県平均 97.7%)

11月：94.5%

○小原田中の朝食摂取率

6月：92.1% (県平均 95.7%)

11月：92.9%

⇒小中ともに、6月の県平均値を下回っている。

## 4 食育実践の報告(概要)

小原田地域学校保健委員会では、令和4～6年度の3年間、食育をテーマに活動を行った。

令和4年度の教職員対象の子どもの食習慣に関するアンケートの結果からは、小中ともに「給食の主食や副菜をはじめとした残菜の多さ」と「栄養バランスの偏り」などが課題として挙げられた。そこで、「児童生徒が食を通して自身の健康にさらに興味関心を持ち、生活習慣を振り返ってより良い生活習慣に改善しようとする意識や態度を育てたい」と考え、令和5、6年度には児童生徒委員会活動、掲示物や放送、外部講師による授業など様々な取り組みを行い、児童生徒へのアンケート結果や各校の給食の残菜状況からその成果をみた。

その結果、小学校では給食残食率が低下したり、中学校では生徒へのアンケート調査で「栄養バランスよく食事をしている」と答えた割合が上昇したりするなど、子どもの食への関心が高まり生活改善をしようとする意識も向上した。今後も給食指導や授業など学校教育全体を通して、継続的に食育に取り組んでいきたい。

### [学校医の先生方やPTA 代表の方々のご意見・感想(一部抜粋)]

#### ①健康・体力面について

- ・肥満傾向児が多い学年がある(小5、小6、中1)ことはコロナ禍の影響もあるのかと思うが、体力テストで改善傾向にある種目もあるようで良かった。楽しく運動してほしい。



#### ②食生活について

- ・日本の家庭は夕食を多く食べがち、大皿盛りにしがちだが、肥満防止のためには大皿盛りをやめて一人ひとりの分を小皿に盛るなどし、適切な量を食べられるようにすることが大切である。
- ・近年、口腔機能の問題や不正咬合などが増えているので、食事においてもよく噛むことを推奨してほしい。
- ・学校で、食事(食育)を通して、社会とのつながりや食事に関わる人への感謝を子どもへ教えてくれていることに感謝したい。今後も続けてほしい。



#### ③全体を通して

- ・学校で細かく丁寧に指導してくださっていることを知った。普段の規則正しい生活が大切だと感じたので、家庭でも気をつけていきたい。